

- 問1 奈良時代の正倉院に収められている工芸品のもとになった、ユーラシア大陸を横断する交易路を何という？
- 問2 奈良時代に、中国の制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？
- 問3 743年に発令され、新しく開墾した土地の永代私有を認めることで、土地の私有化を推進した法律を何という？
- 問4 奈良時代の班田収授法において、政府から農民一人ひとりに分け与えられた田を何という？
- 問5 律令制度のもと、中央政府から地方に派遣されて郡司を指揮し、各地の統治を担当した役人を何という？
- 問6 律令制度において、神祇官と共に二官の一つとして行政の統括を担った機関を何という？
- 問7 奈良時代、政府による統制が強まる中で、民衆の間を巡り歩いて深く信仰を集めた宗教を何という？
- 問8 防人たちが詠んだ歌などが収められている、日本最古の歌集を何という？
- 問9 戸籍に基づいて6歳以上のすべての人々に田地を分け与え、そのかわりに税を徴収する制度を何という？
- 問10 701年に制定され、天皇を中心とした中央集権的な政治体制を整える基礎となった律令を何という？
- 問11 平城京の道路が整然と区画されていた様子を例える表現を何という？
- 問12 『日本書紀』で、神代から歴史が記録されている最後の天皇は誰？
- 問13 度重なる渡航の失敗や失明という困難を乗り越え、日本に正式な仏教の戒律を伝えた唐の僧は誰？
- 問14 奈良時代、唐の進んだ政治制度や文化を学ぶために、日本が中国へ派遣した使節団を何という？
- 問15 令制国に派遣され、徴税や裁判といった地方の行政を担った官吏を何という？
- 問16 正倉院で見られる、三角材を組み上げて湿気を防ぐ建築様式を何という？
- 問17 人口増加により不足し、開墾のきっかけとなった、政府が農民に与えた土地を何という？
- 問18 正倉院にゆかりの品々がおさめられている、奈良時代の天皇は誰？
- 問19 朝廷が令制国ごとの土地の由来や産物などを記録させた地理書を何という？
- 問20 奈良時代の九州地方に派遣され、防衛の任務についた兵士を何という？
- 問21 仏教の力で国家の安定を図るため、全国に国分寺の建立を命じた天皇は誰？

答え合わせ・解説

問1	答え シルクロード	シルクロードは「絹の道」とも呼ばれ、中国から中央アジアを経て地中海世界へとつながる壮大なルートです。この道を通じて、ガラス製品やペルシャ風の文様、五絃琵琶といった西アジアの楽器などが日本へ伝わりました。正倉院は、聖武天皇ゆかりの品々を納めた宝庫であり、国際色豊かな天平文化を今に伝える貴重なタイムカプセルとなっています。
問2	答え 遣唐使	遣唐使は、7世紀から9世紀にかけて、日本が唐へ派遣した公式の使節団です。留学生や学問僧らが同行し、唐の政治制度、仏教、建築、美術、音楽など、多岐にわたる先進的な知識を日本に持ち帰りました。これらは当時の日本社会を急速に発展させる原動力となりました。
問3	答え 墾田永年私財法	743年に制定された墾田永年私財法は、新しく開墾した土地を一定の条件のもとで永久に私有することを認めた制度です。それまでの「公地公民」の原則を大きく転換し、貴族や寺院による土地開発を促進しました。
問4	答え 口分田	6歳以上の男女に与えられ、その代償として農民は租・庸・調などの税を納める義務を負いました。農民の死後は国に返還する決まりとなっていました。この土地で稲を栽培し、国の財政を支える仕組みでした。
問5	答え 国司	国司は都から派遣された貴族階級の官僚で、現地の有力者である郡司を指導し、税の徴収や戸籍の管理、治安維持を行いました。地方行政の最高責任者として大きな権力を持っていました。
問6	答え 太政官	太政官は、八省を統括し、国政の運営を担当する最高機関です。長官である太政大臣を中心に、左大臣、右大臣などが政治の実務を行いました。
問7	答え 仏教	当時の仏教は、国家の公的な儀式のみならず、次第に一般民衆の生活や心にも浸透していきました。行基などの僧侶が、禁じられていた私的な布教活動を行い、民衆を救済するために活動したことで、広い層に広まりました。
問8	答え 万葉集	万葉集は、約4500首の歌を収めた日本最古の歌集です。特徴は、天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった一般庶民の素朴で力強い感情がそのまま記されている点にあります。防人が詠んだ「防人の歌」には、国を守る誇りと家族への思慕が混ざり合い、当時の社会の現実がリアルに表現されています。
問9	答え 班田収授法	班田収授法は、6歳以上の男女に口分田という田地を貸し与え、その人が亡くなれば国に返させる制度です。この田地から収穫された米の一部が税として国家に納められました。
問10	答え 大宝律令	701年に制定された大宝律令は、国家の基本となる法律であり、天皇を頂点とする中央政府と、その下に置かれる地方行政の組織や規則を定めました。これにより、戸籍の作成や租税の徴収、官僚の組織などが体系化され、律令国家としての体制が強化されたものとなりました。
問11	答え 碁盤の目	平城京の道路は、東西南北に直線的に整備され、まるで碁碁の盤のような「碁盤の目」状の区画（条坊制）となっていました。これにより、中央政府の役所や寺院、貴族の家などが計画的に配置され、非常に秩序だった都市空間が実現しました。この構造は、後の平安京にも受け継がれることとなります。
問12	答え 持統天皇	日本書紀は、奈良時代の720年に完成した歴史書です。神話の時代から始まり、持統天皇の時代までの歴史を詳細に記しています。中国の歴史書の記述様式を取り入れ、非常に精緻な記録となっています。
問13	答え 鑑真	唐の僧である鑑真は、日本の僧からの熱心な招聘に応じ、5度もの遭難や失明という苦難を乗り越えて、6度目の来日を果たしました。日本に正しい仏教を伝え、多くの僧に戒を授けたほか、平城京に唐招提寺を建てて修行の場としました。
問14	答え 遣唐使	遣唐使は、天皇の命を受けて唐の都である長安へ赴き、最新の仏教や学問、政治体制を吸収しました。阿倍仲麻呂や最澄、空海など、多くの著名な人物も遣唐使として渡航し、帰国後に日本の文化や仏教の発展に大きく貢献しました。
問15	答え 国司	国司は、国府を拠点として、租庸調の徴収や公共事業、裁判など地方における行政実務を一手に担いました。これにより、中央政府の命令が地方のすみずみまで行き届く仕組みが完成しました。
問16	答え 校倉造	校倉造は、断面が三角形の木材を井桁（いげた）に組んで壁を作る工法です。湿気が多いときは木材が膨らんで隙間をふさぎ、乾燥すると木材が縮んで風を通すという、自然の作用を利用した高い調湿機能を備えています。
問17	答え 口分田	口分田（くぶんでん）は、戸籍に基づき、6歳以上のすべての人々に政府が支給した耕作地です。農民はこの田から上がる収穫に対して税（租）を納める義務がありました。しかし、奈良時代に入ると人口が増加したため、国家が支給できる田が足りなくなり、新たな開墾が進められる要因となりました。
問18	答え 聖武天皇	聖武天皇は、各地に国分寺を建て、東大寺には大仏を造立しました。彼の没後、光明皇后がその冥福を祈り、愛用していた多くの品々を東大寺に奉納したものが、現在の正倉院の宝物となっています。
問19	答え 風土記	風土記には、その土地の名前の由来、特産物、地形、古い伝承などが詳しく記されています。現存するものとしては、『出雲国風土記』が非常に詳しいことで知られています。
問20	答え 防人	防人は、大和朝廷が九州地方の防衛のために配置した兵士です。主に東国（現在の関東地方）の農民から徴兵され、長期間の任期で現地に派遣されました。万葉集には、故郷を離れる寂しさや任務の過酷さを歌った防人の歌が多く収められており、当時の人々の苦しい生活の様子が今に伝わっています。
問21	答え 聖武天皇	聖武天皇は、仏教の慈悲の力によってこの苦難を乗り越えようと考え、「鎮護国家」の思想に基づき、全国に国分寺と国分尼寺を建てることを命じました。また、東大寺に巨大な大仏を造るなど、壮大な国家プロジェクトを主導しました。その信心深さとスケールの大きさは天平文化の頂点を示しています。